

(Apprenticeship) (後述)へ進んで働きながら技能を身につける、④NVQ資格の取得を目指す、⑤就職する、といったコースに大別される。進路の決定には、一般中学教育証書 (General Certificate of Secondary Education : GCSE、16歳で受ける義務教育修了試験)の成績が重要な役割を果たしている。義務教育終了後、16~17歳層においてはシックスフォームや継続教育カレッジ等に進んで一般教育証書上級レベル (General Certificate of Education-Advanced Level : GCE-Aレベル (後述する職業Aレベルと合わせて単にAレベルと呼ばれることが多い。)) 試験の準備コースへ進む者が16歳37.1%、17歳33.8%で一番多い。また、シックスフォームや継続教育カレッジで一般全国職業資格 (General National Vocational Qualification : GNVQ)の取得を目指す者や、養成訓練制度に進んだり、全国職業資格 (National Vocational Qualification : NVQ) 資格の取得を目指す者も多い。一方18歳では、就職する者が27.0%で一番多く、GCE-Aレベルを取得して大学に進む者や、NVQなどの資格取得を目指す者も多い^(注5)。

〈表1-26〉取得した最終教育資格による構成比

性・年齢		大卒以上	大学よりも下位の高等教育機関	Aレベルを2科目以上かそれと同等の資格	GCSE A*-Cを5科目以上かそれと同等の資格	その他の資格	資格なし
男性	20~24歳	14	6	38	22	12	7
	25~29歳	29	8	23	17	14	8
	30~39歳	22	9	25	19	15	9
女性	20~24歳	16	7	35	24	9	8
	25~29歳	29	9	20	21	12	8
	30~39歳	20	10	16	29	14	11

資料出所 国家統計局 “Social Trends 2005”

〈表1-27〉義務教育後(16~18歳)の進路とその割合(2003年度)

(イングランド地方)		進路等の項目		
		16歳	17歳	18歳
フルタイムの学生 (内訳)		71.8	59.5	37.1
・高等教育へ進む者		—	0.4	20.5
・GCE-Aレベル(A Level)を目指す者		37.1	33.8	4.1
・NVQレベル3/同等レベルの資格を目指す者		5.7	7.9	5.5
・GCSEを目指す者		2.1	0.5	0.2
・初級、中級GNVQを目指す者		5.7	1.9	0.6
・NVQレベル1・2/同等レベルの資格を目指す者		10.4	5.4	2.4
パートタイム学生		4.8	6.0	6.3
就職		5.0	14.0	27.0
ILO 定義の失業者		13.0	9.0	9.0
その他		8.7	13.3	21.7
当該年齢の人口(単位:千人)		646.8	636.7	646.7

資料出所 国家統計局 “National Statistics of DfES”

(2) 資格制度

a 資格制度の概要

イギリスにおいて学力や職業能力を評価する基準は、公的あるいは権威ある民間の資格授与機関から認定された各種の資格である。資格には、一般教育資格 (General Qualification)、職業関連資格 (Vocationally-Related Qualification)、職業資格 (Occupational Qualification)、及び高等レベル資格 (Higher-level Qualification) があり、全国資格枠組み (National Qualification Framework) として体系化されている。全国資格枠組みは、アカデミックな学力を評価する教育資格と実際の職場での職務遂行能力を評価する職業資格の価値を相対的に位置付け、レベルの関連づけを行っている。なお、職業関連資格は、後述するように、職業に関連する資格ではあるが、これを取得することによって学業科目が苦手な者にも進学の手がかりが与えられる資格でもあり、職業資格と教育資格の両方の性格を合わせ持っている^(注6)。

全国資格枠組みは、以下のようなねらいがある。

- (a) 教育や訓練への参加や動機付け、達成度の向上を促進し、国際競争力を高める。
- (b) 明確な進歩の道すじを人々に理解させることで生涯教育を促進する。
- (c) 全ての学習範囲をカバーしつつ、資格の重複をなくす。
- (d) 適切かつ正確な国家資格の付与により、国民の信頼を高める。

〈表1-28〉全国資格枠組みの構造

上位↑ 資格レベル ↓ 下位	一般教育資格	職業関連資格	職業資格
	高等資格		Level 5 NVQ
		Level 4 NVQ	
A Levelを2科目	職業A Levelを1科目 (旧上級GNVQ)		Level 3 NVQ
	GCSE A*~Cを5科目	中級GNVQ	Level 2 NVQ
GCSE D~Gを5科目	初級GNVQ		Level 1 NVQ

資料出所 <http://www.qua.org.uk/openquals>

b 一般教育資格

イギリスにおいては、初等・中等・高等学校レベルの教育システムにおいて「卒業」という概念は存在せず、そ

それぞれの教育レベルの修了時に全国統一試験を受けてそれにパスすることが卒業に相当する。代表的なものには学力証明、GCSE や A レベルがある。

GCSE (General Certificate of Secondary Education) は「義務教育の修了」を意味し、通常16歳で受験する。14歳から GCSE に向けた2年間のカリキュラムに沿って勉強する。生徒は、最高10科目まで自己選択できる。結果はA*(最高)からGまで成績順に格付けされる。GCE-A (General Certificate of Education-Advanced Level) はAレベルの名前で呼ばれ、日本という「高等学校」レベルの教育修了資格にあたる。選択できる科目は幅広く、英語、数学などの基本的な科目の他、法律、社会学など専門的な科目もある。大学入学のために必須の試験であり、生徒は自分の希望する学部の入学条件に合った科目選択を行う。試験の結果はGCSE 同様、A (最高) からE (パス) までアルファベット順に格付けされる。

c 職業関連資格

職業関連資格として GNVQ がある。GNVQ は1992年に導入された資格で、幅広い分野の職業知識を認定する。GNVQ は、ビジネス、芸術、デザイン、小売りなど14分野をカバーしており、初級、中級、職業Aレベル(旧上級)の3つのレベルがある。学業科目が苦手な者であっても、GNVQ の職業Aレベル(旧上級)を取得することによって、(一般教育資格の)Aレベルを取得しなくても大学入試資格が認められ、初級や中級の GNVQ を取得することによって、GCSE の該当レベルとして認められる。GNVQ は、学校やカレッジで通常フルタイムの学習で取得する。

初級 GCSE グレードD～Gの5科目、及びNVQレベル1に相当する。通常、義務教育としての学校や継続教育カレッジの1年間のフルタイムコースに参加して取得する。

中級 GCSE グレードA～Cの5科目、及びNVQレベル2に相当する。通常、義務教育としての学校や継続教育カレッジの1年間のフルタイムコースに参加して取得する。

職業Aレベル(旧上級) GCE-A レベルの2科目、及びNVQ レベル3に相当する。通常、16～19歳を対象

とする2年間のフルタイムコースに参加して取得する。なお、上級 GNVQ は整理統合が行われ、2000年9月から職業Aレベル(VCE-Aレベル)になった。

d 職業資格

1986年に発足したNVQ は、イギリスの職業全体を網羅する職業能力評価制度である。職種ごとに5つのレベルが設定され、学習者が設定されている基準を満たすことによって、その職務の遂行能力を有していることを証明する。資格レベルの段階が職種横断的であり、かつ、教育資格と関連づけられている点に特徴がある。対象となる職種は、2003年3月末時点で11分野758職種であり、90%以上の職種を網羅している。資格取得者数を見ると、制度発足以来2003年3月末までに、約403万人がNVQ 資格を取得している。

〈表1-29〉 NVQ のレベルと能力要件

レベル	必要とされる能力と領域
1	種々の業務遂行に当たり、知能と技能を適用する能力。主に予測できる決まった作業ができる。
2	決まった仕事の中で一定の作業をするだけでなく、知識と技能を適用してある程度変化のある作業もできる能力。作業には単純作業ではない複雑なものも含み、仕事に対する責任と自主性も多少は要求される。作業グループまたはチームの中で他の者と共同で作業できることが必要とされる場合が多い。
3	多様な業務設定において、知識と技能を応用して広い範囲の活動ができる能力。業務は単純あるいは一定作業でない場合が多い。仕事に対してかなりの責任と自主性を持ち、他の者を監督し、作業の指導をする能力もしばしば要求される。
4	知識と技能を応用して広い範囲にわたる複雑で技術的、専門的な作業を行う能力。業務設定は幅広く、仕事に対する責任と自主性はかなり高度な程度が要求される。他の作業員の仕事に対する責任及び人材・資材の配置の責任が多くの場合必要となる。
5	多様かつしばしば予測困難な業務設定において、技能及び広範囲にわたる理論を応用することのできる能力。非常に高度な自主性と他の作業員業務及び資材の配置に対する高度な責任が要求される。更に、分析、判定、設計、計画、実行及び評価の確実な能力も要求される。

資料出所 QCAホームページ <http://www.qua.org.uk/index.html>
JIL-PT 2003年No136 教育訓練制度の国際比較
ードイツ、フランス、アメリカ、イギリス、日本ー

e 高等レベル資格

高等レベル資格には大学が出すアカデミックな資格